



令和6年度 各会計決算認定

令和6年度の一般会計、特別会計、企業会計の各決算認定について、9月定例会の会期中に決算審査を行い、本会議において、全件を認定しました。

一般会計 決算

● 歳入	412億 720万1千円
● 歳出	399億 1,599万4千円
歳入歳出差引額	12億 9,120万7千円
実質収支額※	9億 4,296万9千円

(※歳入歳出差引額から翌年度繰越財源 3億 4,823万8千円を除いた額)

たつの市では、予算決算特別委員会を設置し、
3つの分科会に分かれて決算を審査しています。

予算決算特別委員会

総務 生活

総務生活分科会

- 一般会計
- 土地取得造成事業特別会計
- 捐龍公平委員会事業特別会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 後期高齢者医療事業特別会計

福祉 文教

福祉文教分科会

- 一般会計
- 国民健康保険事業特別会計
- 介護保険事業特別会計
- 病院事業債管理事業特別会計

経済 建設

経済建設分科会

- 一般会計
- 水道事業（企業会計）
- 下水道事業（企業会計）
- 国民宿舎事業（企業会計）



子ども防災体験学習事業

Q 小学4年生が対象ということであったが、3年生や6年生に対しても体験学習を行ったのか。

A 防災学習の市内見学は4年生を対象としていたが、学校から別の学年に対する要望もあり、受入れを行ったものである。

地域の安全安心見守りカメラ設置事業

Q 各中学校校区に1か所、計6か所のカメラを設置したとあるが、どのような場所に設置したのか。

A 設置場所については、各中学校区で地域の方、学校、警察と協議し、最適な場所を選定したものである。

総務
生活

開催日
9月 9日
9月16日

行政デジタル化推進事業

Q 電子自治体の推進において、令和6年度末時点でのどのくらい達成されているのか。

A 国が定める自治体のDX推進計画に基づき、令和4年度に本市のDX推進基本方針を定め、6本の大きな柱を設けたが、令和6年度で完了、若しくは着手している。令和7年度に文書管理システムの本格運用を開始し、全て完了となる。

広報活動推進事業

Q システム関連保守委託が高額となっているが、具体的にどのようなことを行ったのか。

A ホームページのシステム改修やトップページのデザインを大学生のアイデアの提案を受けて視覚的に訴えるものへと変更するとともに、子育て・若者応援サイトを新設したものである。

職員配置

Q 技術職の採用や配置に関しては、どのような方針で行っているのか。

A 技術職を含め職員の採用や配置については、毎年、人事ヒアリングを行い、来年度の事業予定などから何人が必要であるかなど、各課の要望を聞き、それぞれの課に割振りを行っている。